

2. 取組内容の進捗状況(平成30年度)

【日露間で活躍できるモノづくり中核人材の育成】(選定年度29年度・タイプA(ロシア))

■ 交流プログラムの実施状況



〈短期人材交流プログラムの様子〉

・1セメスター交換留学がスタート

平成29年度に引き続き短期人材交流プログラム(2週間／双方向)を実施した。ロシアからは交流協定校8大学の学生・教員が本学での研修に参加し、本学からは学生・教員がモスクワ国立大学、モスクワ工業物理大学、ITMO大学(サンクトペテルブルク)、ロシアに進出している日系企業で研修を行なった。また、交換留学プログラム(1セメスター／双方向)が新たにスタートし、ロシアから8名の学生を受け入れるとともに、本学から4名の学生をロシアの交流協定校に派遣し、専門分野におけるモノづくり中核人材の育成が本格化した。

交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

日本人学生4名を1セメスターの交換留学生として、モスクワ、ドゥブナ、サンクトペテルブルクに派遣。短期人材交流プログラムでは、のべ21名をモスクワ、サンクトペテルブルク、ウラジオストクなどロシア各都市に派遣した。

○ 外国人学生の受入

ロシア各地の大学から8名の1セメスター交換留学生を受け入れた。短期人材交流プログラムでは24名の学生が「モノづくり」をキーワードに参加した。

	H30	
	計画	実績
学生の派遣	15	25
学生の受入	16	32

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

・ロシア留学生モノづくりインターンシップを実施

1セメスター交換留学プログラム(受入)に参加するロシアからの留学生に対して、モノづくり企業11社の協力を得て「ロシア留学生モノづくりインターンシップ」を実施した。

・留学プログラムに単位取得を伴う科目を開設し、質の保証を確保

交換留学プログラムを実施するにあたり、受入留学生には理工学部の新規科目「エンジニアリングデザイン実習」(12単位)、「基礎ゼミ1/2」(各2単位)、「卒業研究ゼミナール」(1単位)の計17単位を用意し、派遣留学生には理工学部の新規科目「プロジェクトマネジメント実習」(12単位)と「ロシア語I/II」(各1単位)を開設した。

■ 外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備

・ロシア2大学、1団体と新たに交流協定を締結

スコルコボ科学技術大学、モスクワ市立大学の2大学と新たに大学間交流協定を締結したほか、実業ロシアと協力協定を締結し、各大学・機関との交換留学・協力強化を実現する環境を整えた。



〈実業ロシアとの協力協定締結〉

■ 事業の実施に伴う大学の国際化の状況、情報の公開、成果の普及

・プログラム参加学生の活動報告会を実施

海外研修・交換留学の帰国報告会およびロシア留学生研究活動報告会を計4回実施し、研修参加学生が研修の成果を報告した。報告会には多数の学生、教職員が参加し、本プログラムの意義について理解を深めた。

・セミナーを通じて本事業の取り組みを内外に発信

日露大学間交流セミナー「日露間で活躍できるモノづくり中核人材の育成」(於:サンクトペテルブルグ)をはじめ、「近畿大学研究シーズ発表会」などを通じて、近畿大学とロシア交流協定校との取り組み成果を内外に発信している。

■ グッドプラクティス等

・日露青年フォーラム2018を開催

「日露青年フォーラム2018」(日露青年交流センター、ロシア青年人材センターとの共催)を近畿大学で開催。総勢95名(本学学生18名を含む日本人47名、ロシア人48名)が参加し、「未来に続く日本とロシアの協力」を全体テーマに、中小企業交流・協力の抜本的拡大等4つのサブテーマについて日露の青年が議論を行なった。本事業は「日本におけるロシア年」公式イベントとして認定を受けた。